(皇帝の言)本年1月5年1ル影響に智が教えく絵の報音報を観視と歌歌されたが、全殿長くも上聞に達露がの姿だされた(書庭=神戸中歌月) では、古月十六日十六日十八日 では、一川 には、一川 では、一川 には、一川 では、一川 では、一川 では、一川 には、一川 には、一川 には、一川 では、一川 には、一川 にはいは、一川 にはいいは、一川 にはいいは、一川 にはいは、一川 にはいいいは、一川 にはいいは、一川 にはいいは、一川 にはいいは、一川 にはいいは、一川

右の行動は旺概なる攻頼御神と仏際の借究を駆得し職及を極心とする繁輝十三日西院主力をして顧を排泄するに至らしめたり半三日西院主力をして顧を排泄するに至らしめたり

り威狀を授興せられ右の旨上聞に達せられたり海軍航空隊○○派遣隊に對し聯合艦隊司令長官より左の通海軍省公表 (千六皇後) 中井海軍大尉の指揮せる○○海軍航空隊○○派遣隊に對し聯合艦隊司令長官より左の通

長兵獨力・犠牲顧みぬ海鷲魂

顯忠 著烈

出現するや春兵職力をもつて物味を顧みず、鬼獄県対対機断路和十七年二月一日敵米國機動部隊のマーシャル戦闘力顧に

昭和十七年十月十六日

ħ.

運搬隊 〇〇派遣隊 中共通軍大尉の指揮せる〇〇、

と駆け、仍て盗に厥説を懲更すを攻撃してこれに撤<equation-block>を受人を駆逐したるなるの史忍順著なりを攻撃してこれに撤<equation-block>を受人を駆逐したるなるの史忍順著なり

感狀上聞に達す

本班の布安公職是首都は東方大使 れ在安各公使および解す職(総職等)を改ら職等下に統合二元化されて以、他の 郷保が 驚るしく 順大職化されて以、他の 郷保が 驚るしく 順大職化されて以、他の 郷保が にない しょうせい しょうせい しょうしょうしょう

在支公館長會ひらく 事、飼事など)に對する直総指揮

對支政策の處理 迅速且つ强力に遂行

れその企関も空しく敗退したの

當所株の上場

急所 (血壓中樞) に特殊ホルモン

古もづれ、半身不覧に

高品 早初為然

を持つて歸る
將來の見透し

敵機を撃墜

敌大• 泉渠

が理解していてい 完全消 三。八〇〇錠入 二,500

房藥拌新目丁二級門人兩門城京元實販鮮朝 部藥製 社會式松業實 淵鍾 简明福井天

食慾增進

る政策攻戦を断確し逐次に包盤の旅戦をもつて戦争を先戦にわが解決内に裁って日東被化戦隊を非ふ、千能の戦の疾動を勢くぶやまづその戦自戦の戦励ない。1十能の戦の疾動を勢くぶやまづその戦自戦の戦励と、1十 電航運戦に戦闘・陸し附近に端として以れている。2年まづたの戦の旅跡を戦闘し、ついて撃二十日アチール、諸四右は伊勝戦略主力方能右攻戦隊として昭和十七年二十二十日テチール諸四右は伊勝戦略主力方能右攻戦隊として昭和十七年二十二十日テチール諸四右は大阪戦略を断察主力方能右攻戦隊として昭和十七年二十二十日テチール諸四右は大阪戦略を断察している。 旧倍の敵を降す

|月世日表明尚縣西南歌海部別 七時後期の如く韓軍幅なわが両地/ン剛定の観ぶ路画版を命ぜら これに粛歴の萬冬を期した。午前歌歌ぶ上刃の石珠艦隊としてク | 長は傷を吹せて象定の配御を完了、1中総立テモール臨攻総に落り一概仏物隊東議中との教に総しを隊

懲よ今議會提出

決閣 定議

体記しずの際語

大日の 関節において 爾斯頓自より 津細燃明の こうとれを決定、午後四時 照報原よりこれが法律(歌声類)芝葉とした。これによつて今(東京電池) 改善な長時間主義、長師金熈篠側の解立の見地から今即費に到し日本領債拠款(作)所(配職)法数を 掘出することに決し、

取引所(聚稱)法律案要綱發表日本有價證券法律案要綱發表

引所(職)法案要綱 日本有價證券取

せらるべき作戦への強制を兼ね

方南においてはニ

に敵の脳形二十胎災を撃汾時、

將兵の心を心こせよ

一概あるとを忘れてはなら なほれた解題せざる飛行

盛にして、撃して前ញ発兵の上

の大財優、唯に空の要無と時む機烈を極め、その後も明確言に

ける陸上

【東京報話】 概くも 天皇座下には十七日 聴しく顔奈川欧和武 谷の降流十宮県夜に行平めらせ られる間仰出された 天皇座下

関報語資体十七日午後二時から節 どの 優施に関する 勅令案契縛 【東京報語】第二十四回詞家総動 一、路間第八十五號、駐推證明な

けふ國家總動員審議會

二諮問案を審議

帽集する敵戦闘機を排除

攻撃数次、敵空母を撃退

蒙古、二省を新設

第 10年180年100年 婦人科化膿症・淋疾 歯槽膿瘍・外傷化膿 ・ 外傷化膿

萬全を期す

大藏當局談

損傷艦船ジブ

に配数一隻、緊急は一気、酷得でよれば十五日の鬼」ラリニヤ ラルタル入港

疲 変 充 トラ 族 ホル・

目目症血ム炎

藥限正純

豫防と治療に め、眼の性を良くしますから、危険 同時に眼の疲勞を解消して視力を強 合作用は、眼疾を快適に治療します な眼疾に罹るのを未然に防ぎます。 救菌・消炎・鎮痛・收飲の優秀な綜

店商國王 影會式終 ② 店頭門猿

みやま木のその悄とも見えざりし櫻

花にあらはれにけり

蘇賴政

などにはり時代性々といふも あらう。 というは、 あらう。

若し気ふことがあつたらその

して、

民族がその

最初からこが、

精神だけは、

時代を

超級

畠進后といはれたが、野心な ふところを明かにした。 堂の正しい御窓統にあらせ給を著述し、吉野に在します皇

高士の群に機じた。
颗府が六て居られず、寺を第に襲つて

をし、外國の職話が複素して

この歌は陣中談であつて、

降る雪の白髪までに大君に

に仕へまつ

れば貴くもあるか

日本人の持つ精測は、時代

時代と日本精神

として、随中で「神皇正統記」

近確忠限の知識を受けてかじ

[六]

楠

漫國百人一首

心前面において著るしく歌遊園でする娘成、時間認識の健康など

支店長會議

は は 計数目標を違成せざるものは硫化 の 計数目標を違成せざるものは硫化

面的増展を目指し、ル、十両月間

機関したが、原用中における増配 全解一種に同時論山境産帰調運動

であつて増配時間における物配日代表者参集。

平置、大邱、群山、

增產運動

0)

地

下資源增產强調

成結會員委究研

石無誤林次官の『戦事下食賦門語 で名方町の**教跡があつて正**年から 総談を期す』との**宣繁あり、つい**

食料小賣商組

鉛管鉛板類の

日午前十時三十分のら京城府民館京城新院株式育社側で総會は十五

取締役綱纂三二 (元念北山林鐭)→

大東亞戰

材即資料会理事長)▲專務取締

育後山本平三 (京城縣科小豐路

大東亞戰爭第二年

(8)

なる暁

京城新炭創立總會

配配給の萬全を期し食服不平の

簡似めて四時散會した

て、相互の型総研究機関として断ったよび輸出技能者など一起となつ

各鑛物共に良好 者がそれらの分野において悪理した。

て、相互の理論の規機関として鑑した動物に対しています。 大党 臨時を持ち、関連にあたること、なつてあるを教授を研究を負害を認改、十八日」との相互理論示論を重允許『事鑑』 職績にあたること、なつてある 教授を研究を含まるとのは、相互の理論の規機関として鑑した。

てあるのであるから定省優構にに基き石油統制官託が設立されて基を石油統制官託が設立され ついで前時が顕常長の『恒家下の一切に主教として聖事、美術部・山井神農相(代事)の訓幹が行なれ、殿部師長を臧難せる十九巻員なら出師義をは代事。 発林・教称を設備隊谷師羅委員十八名の氏命があり寄立 活質を全・発林・教称を設備隊谷 井野農相(代理)の諏離か行なれば悪人の代命があり窓立 から全國の食物運販代設省を記り

踬業に科學陣總動員 ら同所において全解指定駅登店代 説明を行ひ、那つづき午後一時かばを述べ看曲繋設制に至れる代表

増産を迅速に遂行せん

を概要とする食種関院戦中央に選 のを戦くものが勢いので井野協司 ので共野協司 ので井野協司 ので井野協司 ので井野協司 ので井野協司 ので井野協司 ので井野協司 ので井野協司 ので井野協司 ので井野協司 ので井野協司

から企製の機関機械代表者を示り、て企業版内に事務総を設け総宣長、賃に棚立質節中の物助、生職以下が後級のもとに、十六日宇師宁時半、下に紹木企構版総版を委員長とし、委員會に京子はこの郷旨に即り現委員會では、最終館、大阪樂報館」で決定設置され、東條館相の鑑那、郷木位を規削としてあるが第一回委員會では、最終館、大阪樂報館」で決定設置され、東條館相の鑑那、郷木位を規削としてあるが第一回委員會では、最終館、大阪樂報館、「本学院、大阪樂報館」で決定設置され、東條館相の鑑那、郷木位を規削としてあるが第一回委員 泉放に返行するため脳時生職着微 みた重原物を増散、陸海輸送多務 など各股の重要政策の實施狀況を 決定したので十六日午後日

おける県庭的事がを配けて被討を

銀券發行膨脹

八億五千萬台に迫る

公司では、一部 受 これらの部種内容を直もに条信値 郷のことあられ、計畫とも数)・ とおられ、計畫とも数)・ となった。 は急速には現されるものと個めて

横行することになつた

「横行することになつたを関す、「は日される、東た党派と関する場合の大学で採用施設を、企和の五ケ州で採用施設を、において皇家に積極化される御光明・時間は砂臓者が瞬間したので、際回攻についても今後立同委員會が、時間は砂臓者が瞬間したので、際回攻についても今後立同委員會が、時間は砂臓が

地改良補助

一部改正

質施

施した、改正内容左の通り

一、規則の必要條単に機能開發蓋 事業に関する半則を追加した」と 予業に関する半則の優地開發 分としたこと

一、その他学句の这正をなしたこと、この場合面積の十町未満は

大 引会企会杂交是全套显示发音高 列名。

心のほどはある後 一百八十麻名が宮中に沿されて 隨想錄 歌風格度そこを通つてゐた私も歌 人耳の網の歌劇なのである。七一月 八耳の網の歌劇なのである。その

るが然しなほ一部には質に坚敵の 私はもう一度振返つて見て『さや

得意の風景、殊に朝鮮派景を中

| 「健康する」| 「健康する。 一個 「健康する」 | 「健康する。 一個 「健康」 | 「他の中に秘めし一事もなりにふれて | 「他の中に秘めし一事もなりにふれて | 「他の中に秘めし一事もなりにふれて | 「他の中に秘めし」 文化だより

まだ多少残つてゐるのではないか

にそれだけの団迫魔が籤つて

心は神ぞ 神ぞ知るらむ のふの上矢のかぶら一筋に思ふ

の 浅れたのを知ると 後唇髄の 浅れたのを知ると 後唇髄 公政大国を贈られてゐる。 御絵であると歌つて、 また敵をあざむくため天皇 天皇を労働に選し参らせた。 の機をよそつたこともある。 そのあらゆる苦労もただ君の 一位大納言で して起つた九州の武将

でないとは云へない▲その根本と

翁とてわびやは居らむ草も木も築ゆ 屋殿 英主

行されて、頻繁を仕れと仰せ 立つの貿易を示して、與 あらう。ク坂田の稻々は、 坂田郷の稲のことだる

にふた心わがあらめやも 山は裂け海はあせなむ世なり 心は月ぞ照らさむ 質り過れる かった こへる水の底までも汚さ 太政大臣となり、神にも祀ら 源質朝

術にみる人格者であつた。 は右大臣、文章際士でもあつ でまた大文像であると共に 幼さより交易を襲し、藤原俊の高朝は源氏三代の將軍職、 魔礁風の作品を多くものし、成の弟子になつて歌を思び、 金属集の書がある。彼は天下 何ら、問題の京

花山院部置は内大田部信の

人る名をぞとどむるへらじとかねて思へ

ねて思へば梓弓なき

して思惑は通じて、順正一位であらうといふのである。緊 る忠誠をお解び申

る波はかつ砕けつつ 執として祈るしる-るしるしの神風に寄せ來 順 餐

の不足を敷じ給うた脐機、天

を賦じたので、黄金の花が炭平廿一年陸奥小田郡から崎沧

着へると、共魔に夥しい優浩の人、月間京都末といふ風に

下時代・親居は正中の戦から

間見以天平年代**、帽**取は鷹

一千歳の初穂にぞ香く

・坂川の稲を抜き積みて君が

の瀬戸に身は沈むとも 月 照大書き

心の機むひまはなけれる。

٤

北畠 親房

天皇の

御代祭えむし

東なるみちのく

大伴 家培

山に金化吹く

比較であつた。

「動恩の志然く

つて日下に降り後一位左大日

のは人に知られず致すべきだ

されなかつたが、なほごのや

に相動はめるか、観点は同じ 前頭に住へた人、矢張り時代

ものである。また輔視は いたと欣び、お祝ひに欲じた

を認る家に生れて、父は正言

緒兄は彼め褒城王、駐を賜 自民の心は一覧である。

の御前で、獣の歌を仕れたとなつた。この歌は太上記

合め、長く御奉公をさせて

に無職すると共に、また學者

うかいへる。新穀服削祭を行 ごとり積みあげた間によって

本の歌然たる姿が現れ、

敵つたのを見ては、御神臓の

だけあつて敵が仏浪と降けて

う神風が吹き船れて、敵は着いよつて神々を続り奉れば、烈よつて神々を続り奉れば、烈 このるぎもしない。 窓も饗暇 してごふといふものであるし に悩かれた彼の低く飛び動つ 法器の歌は、敵がいくら寄 の時には非常に心を協ませたて概念に仕へた人の製古観水 着宮の神宮であつた人だけに新食時代の末期に奈良零日 中臣施署は神の磯り給ふ日

本朝における和風郷紫の大本朝における和風郷紫の大 る時に出でて舞ひてむ えを祀ふと共に、老人と雖も

られたとき、との歌を願しな

で一般直球性品が耐火用台との附近域。で告添配日実施レ大日はの国家。 を一般直球性品が耐寒の「電い合物」、「一般直球性の大日はの国家。 を一般直球性品が耐寒の「電い合物」、「一般直球性の大日はの国家。 を一般直球性品が耐火用台との附近域。で告添配日実施レー大日はの国家。 回 生産擴充增强委員會 な期待を持たれる。なほ委員會は

【東京戦記】東亞におけるタンと

開く。そして色々なつらい。

を忘れようとする。

會社を創立 日本兩統制

勝來はさらに輸入厲石の統制をも 販質と價格の特制を行ふにあるが 第五十萬円(金幅標込)でその 夕刊後の市況(針)網)

| 100元 大明 高値 別 きりとその雄姿をあらはして他のといる月は今延とは癒つて、くつ 大東亞戦戦第二年を巡へた十二

るのに、眼の色や毛の色の調ふ

体防衞·抗病力增强

Ø

人が関旗を持ち出して玄関の群に

微熱·盜汗

輕咳·喀痰

を賦興する

あすから三越田新一個展

忠、進行中のものに於ても、治療の機轉が認められる・一殊に体内の自然治癒力を増張するを以て、結核の罹患弱体質に 於ける著効 の 發現 は微熱・盗虚弱体質に 於ける著効 の 發現 は微熱・盗を可良ならしめて旺盛なる体防衛・抗病力を賦興する

山田新一

をなず山田新一氏は十八日(金)





大人用 小

光用各三 〇 同分

一手聚变元 鐵 塩 野 義 商 店

正 富大竜 自衛が取 東外大 は 薬物薬 作用 本 多 本 2 を 2 の 後 工 表 3 で 3 の 取 日 自 1 の 多 と 1 の 8 と 1 の 8 と 1 の 9 と 1





現住の影響」 一日 新春譜 明明日の著さ二中 別 朝田日の著さ二中 別 朝田日の著さ二中 別 朝田日の著さ二中 別 明日の著さ二中 別 中国 別 日本 人の 博和 美田 中国 別 日本 人の 辞 郷 田本 人の 健 地 の お 中国 い 長谷川 田本 人の 健 地 の は い か 筆隨

·間宮茂

・若き人達に寄せる

■ 電話政島代表の5131番 🕳

御相談は弊社へ國策株式投資の 周

東京・丸ビル中央公論社

本従軍手帖(Files) 本従軍手帖(Files) 大和路信濃路(新運報) 大和路信濃路(新運報) 一位(代質) で、代質)

實朝(建設)

-

4

幽じた。この時縁除を離れた | 共に翻朝したカナダ全都公使吉隆

と証、衝水郎氏は顕素視察に向ふ途次十

米英に挾まれて

狼狽するカナダ

吉澤公使渡滿の途、入城

井の佐(管暦 大財)は新一覧艦は大樹島を受けたまし全選で「心意気が盛られ

鬼神も哭く。海鷲魂

壯烈、中井部隊 長の最期

道報軍海田藤 記 手 の 員 班

中井少佐の遺書

初兵さん教育が何より得意

神戸政次隊長の為人

近く全鮮に配布を追加

府令で換酬品種に追加した 四高濃に對して抵抗力の強い新し 言來審阜々全殿に配付するこ

関盟愛國百人一首かるた

軍大性を加重してゐる欽高駿域殺駿風は打つて一丸となり戦時 生以長を初め豊斎教物主伝その 仏図 次代南家勇士の訓育に出

殿は鬼

京城日

院では、柴田忠和職で氏症がの 破域 大角のてある、就中今秋京城高融 大角のてある、就中今秋京城高融

京城市方法院所事第一部京城市方法院所事第一部

ガメラック

 $oldsymbol{\Xi}$

心脈目が

王仁博士の頚徳碑

で個員廿名出席のもとに開催。先 長い高宮五 **車犬協會支部**

本社へ献金 寄託

八日本社へ寄せられた献金 修鍊農場を擴充 機店玩具部並に全鮮の本社安局、吸資店にあり本社及び京日販資監地所、京城府内各藝店、各百

李容九氏未亡人の還曆賀宴 村指導者をどしく 形成しょうと 戦闘推進派の副隊を行ふ

イツシュ群任ハミルトン・フ

先覺の偉功偲ぶ

音樂で士氣鼓舞

陣配をした。

内地から大量種子

幅しい見通しがついたわけである。次定に新幅な野菜が出血るといっ

作付面積《大擴張

及船長本

板倉夢大郎

稻 勝手御腳退日 論

古見鑑 時御 近街 公被叛 朝 御月五五

有親親朝日也 有親親朝日也 午城 根和和鮮 後治 鑛貿木製 山易材綿 株株株株 九九九九 會會會會 社社社社

現就は郷年にない東京な郷地なりをみや十月来現在で既に日襲 東部戦戦紀職への重大要等である。この大いなる實称に対して東部戦戦紀職への重大要等である。この大いなる實称に対して東部戦争は、の方の方の対してある、 貯蔵ごそは然後の済めであり大東 東部戦争にある。

の中には慰南、郷北両道も含ま退は撃郷道である、この慰害大

ふ不振、更に貯蓄組合に至つ

あるのだ、総ゆる法條件を克服しても

については道電師としても大幅次 トラミザである。 そこで本道が開けるのでは全権時にみるこの貯蔵・接を 成果や明得するか・この方法 る、そこで本道が別注紙でも かころに後来の如く日風物だ トラミザでは 大きない しょうしょうしょう

ン慶南北 年に比べると目標都二千八百萬円千六百卅四萬六千円で約四翰、昨

の實績より劣つてゐる、この道で

送北慰問文

ズマタイ スマシ

思へ前線

繰上げ卒業式中学校 貧困者に温い心 海州で同情金を募集 式を暴行する

する治域を且下で減中であるが この計畫に對しては早くも順色 あり、ルトン市の無限主場・パーミンガム市の乳母車級減代場 ウオーセスター市の手級減減1場 ウオーセスター市の手級減減1場

帝理個著商客備運和運船 射過。且然 一一一 **交川鍾韶**

院長 文川大混 京城府武橋町56番地 毛橋越便(毎新横裏) 電話中局 ② 8647

株 古江 杜家 が城葬儀社

で雌緑叶比和子優四時三十分本町割し御通知に代へ謹告仕午後二時死去致候間茲に不後間茲にの素治儀譲て病氣擦養中の はに生前の安全に生前の安

機場場 場 庭 覧 乞ふ

水社 支出 支店

携現工家

N G K

是非御一

明維網貨府學生局線生課 京體道醫祭部衛生課 國民總力京戰道聯盟 在 取扱品目 豐 富

推**病科或** 洪震求區 (1) (1)

水 濾

> 爾民總力京城府聯盟

闇取引絕滅

計画部科局 图014日 設券京城支店

第 企业戦 貯 六 蓝 回印記 型平戰 一個ノ割が五十四個ノ割が五十四個 券

詮申提待 應求就求 衛込出 豪人業人工 期結書 資份數地者 貝田切類遇 格數地者 員 3 尝

介 所

ア断一ヶ年以上

なると

月

前事事事の中尾本家にヨクキクを押の声を開める。 といこうりお困り

演めり更に身を甦して常産の

、なつたが言田は昨年十一月京

拍子木打つて巡邏

ご婦人の参加は絕對に不可

得心の警夜

の 原設 前宅 研覧 グ ること になった A 髪 つて 励 髪 後 で で の 生活 し 収 明 年 一 月 一 元 日 まで の 一 ケ 月 に し や 単 足の 演奏 ある 如 間 たる 丁 玉 日 から 下

經濟違反撲滅

定職の公園及は北

の趣旨に從ひ飯下十ヶ邑館殿園と

事

とが使う見てアサレコンロの価値

アサビン

金山旭工業商會

|回以上巡邏すること | 開催を選は一名以上、町内を

□▲十一円十銭、茶屋町

反物の大闘

調中の「顧弃」民な戦工質公示の変定膨低が屈仰・膨てから京ってゐたもので膨取品のうり約二百

ピルマ配気で基々の試動を打 開發技師)の開棄町一町郷は ち棚で展別都園の華と散つた の青葉町葬

三十二名を思に撕削隊員に任命 運動の失兵部隊である推進隊員 【全州】全北総力職国では総力 女子推進隊を増員

赤誠の豪華版

咸南道に献艦運動

ちかく配い決意の下に迎へる網し自己十萬道職高員が勝つて勝

黄州郡、棉供出に凱歌

南温では先づ大衆に垂覧し<u>期</u>に く各方館で計畫されてゐるが賦 し米英を顕微する観動を続すべ

午後二時道を完堂で理道會を開するため会北道戦闘では十七日 年々なの一月中京機関網を決定

戦捷の春固む決意

宿てられた黄海道諸州和ではこ 八十萬元といる大きな数字を記 れが完整へ総力を飛弾指導者の 十七年度棉花供出设百 【釜山】驟南道人の棉花供出成 慶南道も頗る好績

の構充磁化につとめてゐるが、

脳勢六百八十八名になりその中 るが、婦人感覚が叫ばれてゐる した、これで全上の指導を責は

四點を示してゐる、府郷別に見

門腸を整調し、 可る・ピタミン・ 可る・ピタミン・

数金刚入口 日本生命吏



緬甸に散華

樹青等について具施的な衝厥を重輸出價裕の取きめ、計造所の輸出 の項に包含無に伴び香港貿易南支番階の後

蟹造紙幣犯人送局

家主さんの懇談會

ラオゼるれとでま石齒

翻品薬舗本輸石ワツミ◎ 対



学校感で根垣朝鮮に司命

・ 一般、新町八倍突展本店一回▲ 敷添列して行ふったり、新町八倍突展本店一回▲ から同舎で川島戦長はじめ水変多いでは、新町八倍突展本店一回▲ 敷添列して行ふ

体をもたれるに至ったので第三國 半島對南方交易 輸出業者懇談會開く

山深 | 虚魔が、勝麻貿易振興の両社中何 館位置の両観脳より注目されてゐ 日から廿一日に以つて質滴、各勢

のが接受、大



各種歌語の登録について 三、常備を経ば、名以上、前内で に対策司法能では次 は十五日より月末まで資庫 総代なじの曾旨一子四百名は のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、 一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」」というには、「本のでは、「本の

東湾目をあげて霧内公前輸盟に 五、婦人の夜舞参加定達当に不可修主製動、資産総員の活用など で町内を巡漏する らつ、巡邏すること 第三層分衡常度式は十三とす機は、監査者は 日婚 紀 成立 日 四、南年候生 日婦結成式 名一雄し 帰

司 同な金沢百円を壊断減金として 五日寄託▲胴飾放塞砂敷塗板部 五日寄託▲胴飾放塞砂敷塗板部 月一同は金巻百円を壊断減金として として十五日寄託 本社へ献金寄託

へたが十五日京城府兵務総へ遺家戦度として瞭勝の脱罪・問年を巡 遺族の献金府内質器町

機動がを行った

職公衛に入り張途テフス、 再開熱 虱に注意肝要 毅珍チフス たよ。 お削さ

んが俺のは既となつて 配いてく れるお紙で、大物を一つ一つ消し 際も出しやがらないよ。はつはつ

した個政府を憎んでゐます。

歯疾のない銃後

の科學的偉力で齒疾の原因をゼオラは主劑ゼオライト獨自

家中、ゼオラで健歯健民 除き、强健な歯を創ります

朝日性病科

浪花舘

限は暴白まぜてせょら気つたが

なければ、私は、こんなけ 整、私S與

















等 第 第 第 第 第







タイプ印書引受



晾麵路 花劇

佐 殿部の 眼はうるむ ……十五日 感激の林原さん 萬 七·三〇音楽(00(城)今日 10(解語)同 朝

得物

● 進曲』ほか資家電級楽館へ

毛生急薬の

に野児切手の質行者が一向に海丸 間か加管に反応して京原府の優秀的 は

KI WH

ス景氣に惑ふな

京家第一高女では

張

東京が言葉は昨年度に比しば三倍

には『院金を致しませう』と明示二月総力巡詢貨費申合等項第三項 あり従らなホーナス原気に感はさ

解説はサ

のをぢさん

通り四角で 士二月十二日 碗

のプモリーアの日本教育・一つのプログランスの一般として年末における経験服務加が本年度は、日朝経験と教教を、「関するとの後一郎に刑権力が移っ」教として年末における経験服務を担めている。「日本は、日朝経験 大学等を

の行う後間関係

め、防犯についてのいろん 年生七百段名を同校庭に集

信候を子供の営ぶ紙芝居

解説者は同係の言原

との

せを

戦地の件

ら浸滴吸取學校生化三、四主氏は午前十一時四十分が

不注意から來る一般の迷惑 るこの概念居は防犯常者のさんで『明るい町』と駆す

大いなる祭

L 10 J

とで絶馬を期することが出

人々々が勝力するこ

さかせるのであつたが、

簡素で勝抜く

區長さんが勇士の母をご馳走攻め

一芳野 悌吉(繪) 實(作)

争動の発をいゝことに、又ぞろ得 り仕事のほかは、他人つきめひ

たっが、吸なだんだん闘々しくな のが、吸なだんだん闘々しくな













(三)

せおかと、間民職集してある有様の、黄北の小脳に着

とふ高葉があつた。 蝦夷の項目は

る意味と歌歌が含められてあるも

より開かれドク-短数ホ別「駅の騒傷および熱陽線の部駆傷を「団地参」(以来すでに一ケ月を釈迦)」、バリ濃都の勢合における各國叛經維府實搬はサイゴンで「する東部滅敗を行ひ、對日文低間「れる、アングロサグソンの彫縦翻」「法軍的鬼位決定」

総館府南麓はサイゴンで「する報告施設を行ひ、対日友的協立下下日回盟」本年度の「商帳頭過去一ケ年の酵品開発に隣

佛印總督演說

境界線の修正制定・獨立の非古領地帯逃駐に基へ

海峽に頭する地幣の

をしてゐる實證であるかと問ひ給一の謝素田でるところがなかつた。 天皇これを他にみそなはせ、何一だ、いくら掘してもその職には水

を走ら一天皇はこの島小さけれどもいい

八紘照らす御慈み

は出来ないかと、難説を含して とは出来ないかと、難説を含して とは出来ないかと、難説を含して も

皇恩に熊襲も平伏

で は天地の神々に御吟意遊ばされ (本天地の神々に御吟意遊ばされ) な天地の神々に御吟意遊ばされ (本代) は天地の神々に御吟意遊ばされ (本代) は天地の神々に御吟意遊ばされ (本代) は天地の神々に (本代) は (大地の神々に) は (大地の神な) は (大地

大地の脚々に御吟絵遊ばされ。 一致り拾い、北漠に行宮を御遊郷に、 が大きな。 がたるな。 が大きな。 がたる。 が大きな。 がたる。 が大きな。 がたるな。 がたる。 がたるな。 がたる。 がたる。 がたるな。 がたるな。 がたる。 がたるな。 がたる。 がたるな。 がたるな。 がたるな。 がたるな。 がたるな。 がたるな。 がたるな。 がたるな。 がたるな。

ン、脳を転り合いに留つても、そ めて傷を平け着つたと同じく、世 ろの日 本 武 尊 が、これを滅ぼ、ばず私や大御心の舒佩さを、戮く、大御心、非太常に輝々に命って着。歩るがのの微に緩ごそれ、兵を薬してまな政則にすべれて仕すとこ。られ、何よりもその無事をようこ

本武等な女装して川上最田が西接 撃滅された後には、

四ノックスは緊切された計巡ヒコ

艦近く進水 米甲巡出號代 なつて所収さつだっと思いされる。たい水が砂楽田でた。既き極みで一蹴らしめ給うた時候、若く美しく

の難くに飛び放うて道は展けた。つかで結構して原風八十層間といと、神殿の加潔によつて石は和葉。後へてゐるから彫り艦呼響力であと、神殿の加潔によつて石は和葉。後へてゐるから彫り艦呼響力であ 加く繰れ
とのた京ひ、力を飾めて始み名。文、写動文といふ者で鬼下を続く
かく帰れ
かく帰れ
から、「の動文といふ者で鬼下を続く

「東京電話」日 年空 であた か 郷行して十六日 部間 資子 か 郷行して十六日 部間 資子

「朝似こが上する軍事、**経緯両聯定のうち取**一般候決の突後が進められるものとして独目

1-66を雇免で動気照介、十二【ベルリンニュロ川温】大原 関動方大・農物車層方、断点管域ついた高温機械が表示自己を低 関助方状熱維方面、総常方面 46 大便健に指示してからて、シーラーの他で 場内方状熱維方面、総常方面 46 大便健に指示してからて、シーラーの他で

傷病兵を招 大島大使、獨

日泰文化協定

この第一次會級に際し帰山の窓

語を開催したもろ

恵生せしめるものとして多大の期待がかけられてゐる

日本當局に信賴

密點、まづパリに乗りこみさらに関策と数次にわたり膨離を遂げた

のである。

りなとどめたものも多々あり、三方・一部的政策は各方面より切割さ

獨佛關係新段階

ラ首相、ヒ總統と會見

他を歌伝し、さらに たと歌されるが、これらの出

地中海における海岸防備の強

したが、その間ラバール首相は政一

御批准書交換

廿一日盤谷で擧行

びに理関南方等原所に蔵を解滅し、シを推した

校に関する事項二二、閏年原校學校に関する事項二二、中等學・

を とこの がく あったるも

へたるっへが終上の数値行政のラー廿二日の関節をもつてその大郎分』を決定する歴史で、成效信を代にてはこれに基と合裁師正数部を加っな信義がの美術数に十八日および などにわたるもので改評(資本)と、「表示疾 医国上の国籍を与してもとして

である

描して注目を歌いた、微説異哲

【ベルリン十五日同盟】 (編取は空 | | 観況に大きな

東部戦線

赤軍各所に敗退

地域でも顕正の認道に赤道は著さらにスターリングラード内部 ぐ安戦をもつて漸次赤瓜を脳迫し

> で着々戦災を擴大してゐる、残軍 度高いため、職取はイルメン

南太平洋反樞軸軍司令部は日本航空部隊が十四

交調率を行つた上法側局に週間し

殿を決定は、関係合質において叙以及の関連において五十四年の要 提出法門窓については十日までの【東京電話】政府は第八十一諸官

三法律案要綱決定

が発

陸鷲、桂林飛行場を急襲

飛機型を爆発

襲、敵の熾烈なる「南京十六日日」を那派

大學堂

に戒嚴令 ポリ

て同國に残職令を和告したとい

正シイ

勇躍敵攻撃に向ふわが海鷲の編隊・琵琶の

行發社談講會辯雄本日大

新省·日本出版文华级曾推翻 二四八〇 〒二五段

運動は

满

胃

吉川英治著

O IM

康獲得

0

一直 (春8+)

分散回したが、報告内容は左の 本府第三會職等で明保、各局長

繰下げ局

人人自然

等に對し不平をいはぬことに感されてゐる。さらに供出、配給

、さらに供出、配給、股家の住居が整額

地的戦闘に終始

時の 録音

姓献印度テソタコンを診断

なる。海線また南部の活躍。

は狩馬さて、降陸の剣。一陸性のあるところ、忽ち雅製

一般の勢害を励れてなるまじっ

ゼンチ

蘇を特に避仰し度い。 長沙作戦の華、豊高、韓田顕彰源と輝く戦闘。 高れ勝った大陸作戦の勇服が

アルゼンチン政府は昨年十二月十一プエノスアイレス十四日同盟】 戒嚴狀態延長

飛び降りよ。 際に第八か。 聞もこの際思心切つて職権を

ル首相はと隠続との會見經集に基 四十四名を逮捕、同時に交相の名 來館によればイラン政府は食材薬 【ベルリン十五日同盟】テヘラン 暴動に彈壓 に形敵状態を覚仰し當藏機關で発用して全國 米海軍の手落 ク號事件暴露

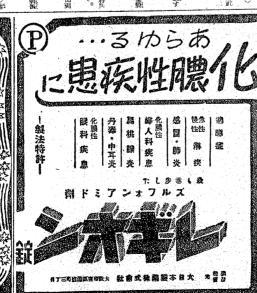
イジン政府

名を逮捕

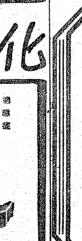


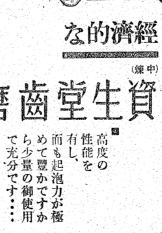














日の形に闘でも袋形に歌らんだ形と思ってあるか、それは疾師師所見に微な目の殿部を加されてあるからであり戦略に於て生態のしは蠕の働きは強いかとに描かれたる如き動蔵かる一本の陽である。ところが一





健兵錬成の庭開く

廿二日第二志願兵訓練所開所式

師間して勝定的な自途を記

魚出廻りに活

來春から配給機構改革

け魁に鮮全

め、京城戦道旅院では

は最近その効果が振めて順著ない、は最近その効果が振めるが積極的對策としてはいかあるが積極的對策としては

輸送陣から結核締出

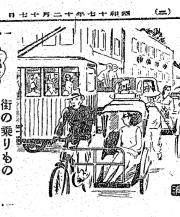
鮮鐵が野谷豫防接種の試み

窓で『題 るので表別用のないを取けば、家 医硫で腫子帆した大政難競脅東趣 (郷むから同心は顕微的存後六時、現際登職によって全願に中郷され 団の繊維のため、十五日砂豆越府 (現を一人でも釣る物の)が 一般り暴して大東部地質機利互の水 なば景域中央開発研究 変り暴して大東部地質機利互の水 なば景域中央開発研究・一下で着繋 すれて うきゅぎょう (ごの) の (の) ことになった 「で着繋」すれて、「の) との即念を 関へることになった。「で着繋」すれて、「の) との即念を

新陣谷、聯盟の講演會

再び雄叫ぶ あす水井氏譜演會





南の劇場

後三

或

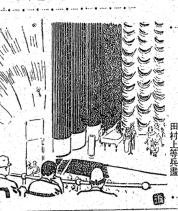
出師の名

(32)

報

大器 月、昭七十五 雁のみだれ

て探めて七葉の四球を御軽減めると を なが担ねがはさめやうに。そして ないます。 といい言をもあります。 として まり



耐物安全輸送

不高

新豐里で舉行神宮スキー大會

数で使にして、お宮を師中へ招い 数を使にして、お宮を師中へ招い して、お宮を師中へ招い

「元山百活」朝鮮體育振興命

会具同事间是知此个最后的显然的 对现象新新人和少哥不是"基本" 表合系数 快快等 医毒素 医异素 医性炎 合素 数 中

〇全三ろ夫…

〇の成ツギ・の公立五五









電池総合に移行せしめるといふ酬別を出り、

・ はいかられば、

・ はいがられば、

を衝散、京城、大郎、平原などの上三崎間)には新たに 旧荷 組合

松竹大船映窗



れが収しくなる

一一間より | 一口まで(四日間) 九・二十日(晝夜二回)ヨル 七・十八日(夜 一回)ヒルー 圓(稅共) 時時 開 資

さあ二年目も勝ち抜くぞ★ 裝置

見よ!完隆の陣容・豪華の舞台!

百萬府民の心涙を汪ぐ野心的異色篇!

223 223 233

創現代劇場公演